

大学院入学を目指すあなたへ

先端保健看護分野・島しょ保健看護領域 植田悠紀子

看護は多くの科学を基盤として成り立っている応用の領域ですから、看護に係わる研究は基本的には応用研究です。知識の基盤を広げる基礎研究に対して、応用研究では問題となる状況に変化をもたらす科学的計画を立てて実践につなげることが最終の目標になります。研究は経験を通して素朴に問題に気づくことから始まります。

看護職として納得のいく仕事をするために、クリアすべき課題は限りなく出現しますが、それらの課題を感じ取ることができるのは、あなたが看護の実践者として日々患者さんや地域の方々に向き合っているからです。社会人として生活し、看護実践の場にいるあなたは、看護の研究をするために一番ふさわしい立場にあるのです。

私は長く地域保健看護の実務者研修に携わってきました。実務の場からいろいろな課題を抱えて研修に来る皆さんが1年かけて研究し、論文を作成する過程に付き合いながら、問題を感じた人の手で問題の解決を目指した活動の展開まで実施できる、実務者による研究の重要さをいつも感じてきました。今、あなたが気づいていること・気になっていることがあれば、それが研究を始めるチャンスです。

県立看護大学では、2011年度から先端保健看護分野に島しょ保健看護領域が新設されます。国の支援で試みた領域が大学院に正式に位置付けました。もちろん、本学だけにある領域です。島は地域社会の本来の姿が残されているとともに、今日の社会が直面する問題がいち早く現象として起こる重要な地域です。沖縄の看護職として、島というキーワードで勉強しませんか。きっと新たな視界が開けると思います。